

スイング SWING



函館協会病院広報誌
2017. 10. 1 No.32 秋号

■院長のひとり言■

～気のむくままに～

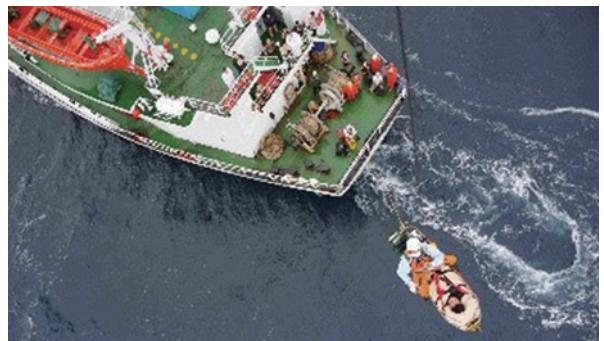


「感謝、感激、雨、霞～～」

院長
向谷充宏

8月9日、納沙布岬沖700kmの太平洋上で要救助者発生。医師、看護師の派遣要請が第一管区函館海上保安部から入り、当院では派遣準備体制に入った。函館から飛行機で釧路、そこからヘリコプター、巡視船を乗り継いで一昼夜以上かけての救助活動である。13年前に渡会外科医師、近藤看護師長を派遣した時はミッドウェイ海域だったことを思えば、まだまだ近い(笑)。病院として外科医師、看護師の派遣準備をするのだが、院内業務とは違って身体的危険が伴う可能性があるので本人の承諾が必要なのだが、嬉しいことに河野外科医長、今野看護副部長の二人とも「任せて下さい、行きます。」と気合いの入った返事をしてくれた。もう20歳くらい若ければ、「俺だ。俺が行く!」と手を擧げるところだが、如何せん還暦を過ぎた老体では、こちらが要救助者になってしまい、足手まといになることはほぼ確実。院長として「船酈いに負けず、事故なく、無事に患者さんを助けて来い!!」と励ましの言葉をかけ送り出した。彼等は海上保安庁の飛行機で釧路、そこからヘリコプターで巡視船、要救助者を収容してから再びヘリコプターで釧路の病院に送り届け、飛行機で函館空港に戻り任務完了。

海上保安庁職員に限らず、患者移送ヘリなどで自ら危険に身を晒す自衛隊員、警察官は「任務ですから」と平然と言う。彼等のそんな姿は気高く、凜々しく、本当にカッコ良いと思う。直接、救助任務にあたった職員は元より、後方支援を担当した第一管区函館海上保安部の職員の皆さん、本当にお疲れ様でした。ちなみに10mしか泳げないので、私が海で溺れて要救助者になった時には早めに助けに来て下さい(爆笑)





さて、病院広報誌「スイング」は年4回の発行を続け、今回で8年間32号になる。待合室でふと目に入った「スイング」を何気なく手に取りページをめくる。おおよそ病院広報誌に似つかわしくない平文に違和感を持ちながらも読み始め、いつの間にか引き込まれて読んでしまい、ニヤリと最後に笑みがこぼれてしまう。外来診療待ちの時間潰し、それでいて函館協会病院のことが好きになり、捨てることなく広報誌を持ち帰る。そんなことを目指しながら「院長の独り言」を書いてきた。広く浅く多趣味であるお陰で、「独り言」のネタに苦労することはなかった。海水魚飼育、真っ赤なスポーツカー「マツダRX-7」、看護師国家試験対策、熱中症のメカニズム、イクラの醤油漬け、男の料理、などなど思うがまま好き勝手に書いてきたが、それなりに楽しみにしてくれていた熱心な読者も多く、それはもう「感謝、感激、雨、霰～」なのだ。誠に残念だが、海水魚は里親の元へ、水槽撤去を決断せざるを得なかった。14年間、魚たちの泳ぐ姿を眺め続けたことで、単身赴任の単調な生活がどれほど癒やされ、心を和やかにしてくれたことか計り知れないものがある。

さて、平成29年10月から日本海員掖済会「小樽掖済会病院」へ移動することとなり、これが最後の巻頭言になった。このスイングが発行される時は「小樽の人」なのである。副院长で6年半、院長代行で1年、院長で6年半、あっという間の14年間。全ての患者さん、家族の皆さん、病院運営業務に携わる全ての関連関係会社各位、そして何より全ての函館協会病院職員に「今までありがとう」という言葉を最後に贈りたい。

最後のワガママとして、天気の良い時に病院前で記念写真を撮りたいとの申し出を快諾してくれた職員に感謝しながら、函館を離れる事にする。

10月からは長谷川格先生が後任院長として赴任されてくるが、全職員、新院長のもとで一致団結して函館のため、患者さんのため、医療職としての気高い認識を持って頑張って欲しいと願っている。

充実した14年間をありがとう。

「函館そして函館協会病院を愛せ。病気で困っている人を助ける。頼まれたら断るな。」





心電図 って何の検査?

身体に電気が流れるの?

心臓が拍動する時、心筋が収縮して微細な電気を発生します。

その電気の強弱を波形グラフ化したものが心電図です。

体を流れる電流を器械に導くだけで、

体へ電流を流すわけではありませんので苦痛は全くありません。



何がわかるの?

心臓全体のはたらきを調べることができます。

不整脈や狭心症などの心臓病の診断や、病状の把握、治療効果の確認、薬の副作用の発見などに欠かせない検査です。

また、甲状腺機能障害などの内分泌疾患によってどのくらい心臓に影響が及んでいるかや、電解質（カルシウムやカリウムなど）の異常もわかります。



検査方法は?

ベッドに仰向けになり、手首と足首と胸に電極をつけて検査します。

全身の力を抜き、リラックスする事が重要ですがおよそ1～2分で終わります。

また、24時間記録するホルター心電図検査では、日常生活において不整脈などが起こるか、症状が心臓に起因するものかどうかを調べたりします。

心電図に異常があるからといって、その全てが病的なものとは限りません。

治療の有用性などの判断は必ず医師に相談してください。



看護部 の取り組み

学会発表

日本看護学会（慢性期看護）学術集会が平成29年8月31日～9月1日の間、兵庫県神戸市、神戸ポートピアホテルで開催され、当院4階西病棟（障害者病棟）が発表する機会を得てスタッフ3名が参加してまいりました。

当日の参加者は、総勢2,000名余りで8つの会場に分かれ、講演や発表が行われました。当病棟は、昨年一年かけ「成人に発症した遷延性意識障害を持つ家族の心理を明らかにする」をテーマに原稿作成に取り組みました。看護師として日本看護協会主催の学会で発表することは看護師として目標でもあり、その機会を得ることができたことは当病棟としても大変うれしいことでした。

兵庫県は阪神淡路大震災から22年が経ち、震災の爪あとも感じられない情緒ある街並みと近代的な建物で学会と観光を楽しみ知識とお土産を抱え帰函しました。

4 西病棟看護師長 近藤留美子



新人看護師研修

新人看護師を対象に9月8日(金)に多重課題研修を実施しました。

夜間勤務に入る時期を踏まえ、日常的に起こりうる急変や突発的な事象の事例に取り組みました。状況を瞬時に判断し、優先順位を考えながら行動がどれ、先輩看護師に状況を的確に報告できるようシミュレーションを通じて学習を深めました。

入職して半年が経ち、まだまだ毎日緊張の連続だと思いますが、研修を受ける姿勢も積極的な様子が見られ、成長を感じられた研修となりました。まだまだ研修が続きますが新人ナース頑張って!!



洋上救急協力者に対する 第一管区海上保安本部長表彰

平成29年9月26日(火)、当院にて第一管区海上保安本部長より感謝状の授与式が行われました。

本感謝状は、平成29年8月9日に洋上救急による救急要請に出勤応援をした河野 剛 外科医長と今野 美幸 看護副部長へ感謝状が授与されたほか、本事業により平成4年8月、平成16年10月に続き、今回で3件の事案に医師等を派遣した当院へも感謝状が授与されました。

実際に出動した2名の職員は救難ヘリや巡視船で現場へ急行し、洋上において発生した傷病者の救急処置を行いました。



ボランティア活動に対する感謝状贈呈

平成29年9月21日(木)、株式会社マルトヨ渡島土木 社長 中川元明 様へ感謝状を贈呈しました。中川様は病院敷地内の清掃及び除草等をボランティアで行い、病院の環境美化に多大な貢献をされていることから、この度の感謝状贈呈の運びとなりました。

向谷院長より感謝状贈呈後、記念撮影が行われ、この度の活動に敬意を表するとともに、今後とも病院環境美化へのご協力をお願い致しました。



出前講座

■深堀町会 9月19日

深堀町会館にて当院 藪 敦志 診療技術部長兼診療放射線科長による講座を開催しました。

町会さんより事前にリクエスト頂いた「～骨の検査～ 骨塩定量検査とは」をテーマに骨密度検査の方法や装置の種類の紹介、結果表の見方や男女差など説明の他、骨粗しょう症についての講演を行いました。



■函館経済交友会 9月20日

ベルクラシック函館にて当院 菊池 宏充 理学療法係長による講座を開催しました。

当日は函館経済交友会さんの定例会にお招きいただき「転倒予防について」、歩き方のチェックやこれから冬を迎えるにあたり雪道での上手な歩き方、危険ポイントについての講演の他、筋力低下や柔軟性低下を予防するトレーニングを皆さんと実践しました。



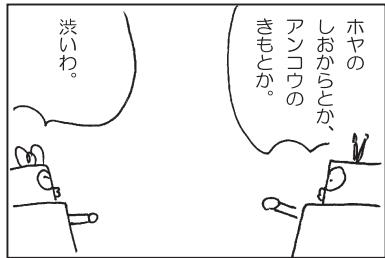
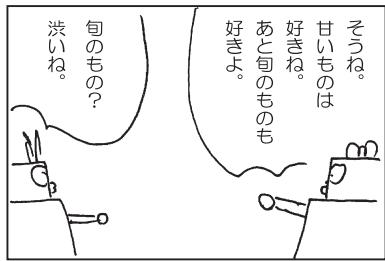
両日ともに沢山のご参加、そしてご質問等いただき大変有意義な会となりました。

今後も当院では、地域の皆さんのお力になれるような取り組みを積極的に行ってまいりますので、出前講座にご興味、ご要望のある方はお気軽に 当院総務課 加藤までご連絡下さい！

担当：総務課 加藤 TEL 0138-53-5511

「ロボ君」と「ロボ子」のイラスト。背景には「食欲の秋」と書かれています。

食欲の秋



落葉きのこのみぞしるとか。
柳生十兵衛



【函館協会病院外来診療担当表】

平成29年10月1日より

診療科	午前 午後	受付時間	診療時間	月	火	水	木	金	土	備考
内 科 消化器科 (内線 1700)	午前	8:15~ 11:30 (土のみ) 8:15~ 11:00	8:45~	山 桑 内 島	榮 白 國 兼	白 石 國 兼	山 桑 白 内 島 石	榮 浪 島	榮 浪 山 内 (二次当番日)	
	午後	12:45~ 3:30	1:15~		白 石	白 石	白 石			
外 科 (内線 1800)	午前	8:15~ 11:30 (土のみ) 9:00~ 11:30	8:45~	第1診 久木田	久木田	村 上	村 上	河 野	当番制	※第5診は、予約診療のみ となっております。
				第2診 —	—	—	—	—	—	
	午後	12:45~ 3:30	1:15~	交替制 (新患・紹介患者のみ)	交替制 (新患・紹介患者のみ)	交替制 (新患・紹介患者のみ)	交替制 (新患・紹介患者のみ)	交替制 (新患・紹介患者のみ)		※午後診療は、新患・紹介患者のみの対応となります。
整形外科 (内線 1620)	午前	8:15~ 11:30	8:45~	多 田 戸 嶋	多 田	戸 嶋	多 田	戸 嶋	当番制 出張医 (3週目)	
	午後	12:45~ 3:30	1:15~	手 術	多 田	戸 嶋	戸 嶋	多 田 戸 嶋 (2週目)		
皮膚科 (内線 1900)	午前	8:15~ 11:30	8:45~	—	—	—	—	—	—	※皮膚科休診中
	午後	12:45~ 3:30	1:15~	—	—	—	—	—	—	
泌尿器科 (内線 1610)	午前	8:15~ 11:30	8:45~	田 沼	田 沼	田 沼	田 沼	田 沼	田 沼	※毎週水曜日の午後2:30 以降は、院外往診がある ため休診となります。
	午後	12:45~ 3:30 (水のみ) 1:15~ 2:30	1:15~	田 沼	田 沼	田 沼 院外往診	手 術	田 沼		
歯 科 歯科口腔外科 (内線 1911)	午前	8:15~ 11:30	8:45~	三 橋 澤 本	橋 宮 本	橋 本 宮 本 出張医 (1~4週目)	三 澤 宮 本 出張医 (1~4週目)	三 宮 澤 本	三 橋 宮 本	※水曜日と金曜日の午後は、 手術のため外来担当医が 変わることがあります。 ※水曜日と金曜日は、夜間 診療のため午後6:30まで 受付を行います。
	午後	(月・火・木) 12:45~ 5:10 (水・金) 12:45~ 6:30	1:15~	三 橋 澤 本	三 橋 澤 本	橋 本 宮 本 出張医 (1~4週目)	三 澤 宮 本 出張医 (1~4週目)	三 橋 澤 本		
内視鏡センター (内線 1600)				榮 浪	山 内	榮 浪	榮 浪	山 内	当番制	※内科又は消化器科を受診 してください。
健診センター (内線 2800)		予約制		國 兼	大間知	大間知	大間知	國 兼	—	※健診希望の方は、医事課 までお問い合わせください。

※第1・第3・第5土曜日は、診療しております。(第2・第4土曜日は、全科休診)

※外来診療が休診の場合でも通院中の方や紹介状をお持ちの方は、電話でお問い合わせください。



交通のご案内

市電

- JR函館駅より 徒歩5分

函館バス

- 深堀町バス停 徒歩5分
系統／5、8、7、10、10-1、10-6、
14、21、41、112

- 自衛隊前バス停 徒歩5~6分
系統／5

車

- JR函館駅より 約15分
- JR五稜郭駅より 約15分
- 函館空港より 約20分

無料巡回バス

無料巡回バスを運行いたしております。
停留所・時間など、詳しくは当院まで、
お問い合わせください。

病院理念

地域住民に信頼され、地域とともに歩む病院を目指します

- 社会福祉法人として、医療・福祉の提供を通して社会貢献を行います。
- 病院の能力を結集し、高度医療および救急医療を提供します。
- 病院職員の総合力を生かし、安全な医療・看護を提供します。
- 患者さまのプライバシーを尊重し、思いやりのある医療・看護を提供します。
- 病院職員全員の、医療技術等の向上を目標とともに次世代の人材を育成します。

社会福祉法人 北海道社会事業協会 函館病院

函館協会病院 【略称】

〒042-0935 北海道函館市駒場町4番6号
TEL:0138-53-5511 FAX:0138-51-8421

<http://www.hakodatekyokaihp.com/>

○発行元
社会福祉法人北海道社会事業協会
函館病院

2017
32号

○編集
○印刷所
企画広報委員会
株式会社長門出版社印刷部